



配管設計講習会（北海道会場：1月13日～15日、

関東会場第2回：1月20日～22日）

水道事業者及び設計業者の方々95名（北海道会場44名、関東会場第2回51名）の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について、研修を実施した。

第700回抄録委員会（1月14日）

本誌4月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議した。

水道施設管理技士資格試験（1月17日）

平成27年度水道施設管理技士1級及び2級の資格試験を全国7会場（札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、福岡市）で実施し、計874名が受験した。

浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第7回：1月19日～22日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに、設備機器の保守・管理の実務について研修を実施した。

第75回中小規模水道問題協議会（1月22日）

はじめに、常木総務省自治財政局公営企業経営室水道・工業用水道事業係長による「経営戦略の策定支援等について」と題した講演を行った。

次に、メンバー都市から提案された情報交換事項として、「①水道事業における管理者の選定について」、「②簡易水道事業統合が抱える現状と課題について」、「③指定給水装置工事事業者の指定等に係る手続きについて」、

「④水道の漏水及び赤水対策について」、「⑤水道施設（管路、配水池等）の耐震化について」、それぞれ情報交換を行った。



水道技術者専門別研修会（浄水施設部門）（1月25日～29日）

水道業務に従事する実務経験概ね3年以上の技術系職員の方々81名の参加を得て、「水道事業の現状と課題」、「水質管理」、「浄水施設－取水・沈澱等－」、「浄水施設－汙過・排水処理等－」、「浄水処理－膜・紫外線・高度浄水－」、「機械設備・電気設備」、「計装設備」及び「水道施設管理業務の積算とその業務評価」について、研修を実施した。

第105回水道 GLP 認定委員会（1月26日）

水道 GLP 認定について、認定更新検査機関として君津広域水道企業団（認定番号：JWWA-GLP034）、岡山市水道局（認定番号：JWWA-GLP035）、（公財）島根県環境保健公社（認定番号：JWWA-GLP036）が、認定維持検査機関として神奈川県企業庁（認定番号：JWWA-GLP006）、青森市企業局（認定番号：JWWA-GLP058）、秋田市上下水道局（認定番号：JWWA-GLP060）、（一財）茨城県薬剤師会（認定番号：JWWA-GLP103）、豊田市上下水道局（認定番号：JWWA-GLP104）が、それぞれ審議され決定された。

第943回会誌編集委員会（1月29日）

本誌2月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱いについて審議した。

水道技術者専門別研修会（機械・電気・計装設備部門）（2月1日～5日）

水道業務に従事する実務経験概ね3年以上の技術系職員の方々80名の参加を得て、「水道事業の現状と課題」、「機械設備（Ⅰ）－ポンプ及び浄水・排水処理設備－」、「機械設備（Ⅱ）－高度浄水処理・膜汙過設備・紫外線－」、「電気設備－受電・変電・配電設備－」、「計装設備－浄水処理設備の計測・制御及び遠方監視制御設備の制御－」、「ポンプ・バルブ設備の計画－水道用ポンプマニュアル・水道用バルブハンドブックの改訂を踏まえて－」、及び「運転・保全管理と業務委託」について、研修を実施した。